策定例別紙①　避難訓練の実施内容（例）

１　実施回数

年　回（うち夜間又は夜間を想定した避難訓練　年　回）

２　避難訓練の参加者

常勤職員（夜間従事者含む）、非常勤職員（夜間従事者含む）、利用者

３　想定する災害の種類

火災、地震、水害、土砂災害 、津波

４　避難場所

（１）火災発生時 ○○公園

（２）地震発生時 ○○小学校

（３）水害発生時 ○○市民会館

（４）土砂災害発生時 ○○公民館

　（５）津波発生時　○○市民会館

５　避難場所までの避難目標時間

（１）火災の場合 ○○分

（２）地震の場合 ○○分

（３）水害の場合 ○○分

（４）土砂災害の場合 ○○分

（５）津波の場合　○○分

※　小規模社会福祉施設の火災発生時の避難目標時間については、「社会福祉施設等に係る防火対策の更なる徹底について（平成22年3月13日消防庁予防課長通知）」に参考添付の全国消防長会作成の「小規模社会福祉施設における避難訓練等指導マニュアル」を参考にしてください。

https://www.fdma.go.jp/mission/prevention/suisin/post16.html

６ 避難訓練の内容

（１）避難目標時間内に迅速に避難できるかどうかの検証を行う。

（２）防災マップ及び施設内の避難経路のとおりに迅速に避難できるかどうかの検証を行う。

（３）災害時における役割分担表のとおりに迅速な対応ができるかどうかの検証を行う。

（４）職員の少ない時間帯での対応を想定した訓練を実施し、迅速に避難できるかどうかの検証を行う。

（５）消火器を使用した初期消火の訓練を行う。

（６）近隣住民が参加する避難訓練を実施する。

　（７）災害シナリオを想定し、情報収集や伝達、避難等の図上訓練を行う。